

第26回	内訳作成・値入に関する諸問題		平成21年 7月 13日 (月)	
	進行役	和田浩嗣(株棟建築企画)	特別講師	

質問に対する講師の回答及び補足説明

番号	質問事項	回答及び補足事項
1	軽鉄壁下地の開口補強について、官庁・刊行物の単価は各型に対して、3種類程度の(片開き、親子開き、両開き)の設定単価がありますが、か所計上の場合はその時の各建具寸法毎にか所計上、又はある程度まとめて計上、どのように計上されていますでしょうか。	高さは各型の上限が決まっているので、65型 \leq 4.0、90型 \leq 4.5、100型 \leq 5.0等、幅の寸法が、片開きサイズ以下は片開きサイズに集計、片開きサイズを超え親子開きサイズ以下は親子開きサイズに集計、親子開きサイズを超え両開きサイズ以下は両開きサイズに集計、両開きサイズを超えたらそのサイズ毎に計上します。
2	m計上の場合には、そのmは建具寸法の長さ、又は縦は軽鉄の高さ寸法と幅の長さ、どのように計上されていますでしょうか。	縦は軽鉄のH寸法とし幅を加算します。
3	単価についてRIBCの場合、乗率にて調整されているかと思いますが、どのように乗率を設定されていますでしょうか。	両開きサイズ(1800を超える)代価作成の場合、両開きサイズW1800 \times H2000程度の単価をベースとしてH寸法(標準仕様書より):65型H=2.7 \sim 4.0平均3.4m、90型H=4.0 \sim 4.5平均4.3m、100型H=4.5 \sim 5.0平均4.8mと考え、1.8+3.4 \times 2=8.6mがベース単価長さ。例えば、65型W1900 \times H2000の開口補強は、1.9+3.4 \times 2=8.7m、8.7/8.6=1.01を乗率とします。
4	上記内容で、天井下地開口補強についてもどのようにされているのでしょうか。	壁とは異なり各寸法毎に計上し、開口の周長での乗率としています。
5	木工事で材料をm ³ に換算した場合と、業者に下見積を取る場合は、金額的に大きな開きはないでしょうか。	一般材料単価は無いと思われませんが、手間で変わることもあるかと思います。歩掛は、鉄筋コンクリート造等の内装木工に適用となっています。
6	値入作業で曲面及び曲線の割増しについて、明記がありませんがどの程度割増しされますか。	東海北陸支部のホームページのデータベースより別紙参照。
7	捨コン止型枠及び上蓋型枠の単価はどのように算出されていますか。	東海北陸支部のホームページのデータベースより別紙参照。 上蓋は普通型枠としてはどうですか。
8	内訳の仕様をどの程度まで記載をしていますか。	最低限、寸法と材種は記入しますが、他に価格設定に必要な記載は明示すべきです。
9	物価版に掛率を掛けることはありませんか。	基本的には掛けません。公表価格についてはあります。
10	外構のコンクリート打設の値入は人力なのか機械なのかどちらにしていますか。	下記と同じ。
11	物価版でコンクリート30m ³ 未満は人力と記載がありますが、コンクリート25m ³ とある場合でも人力の値段をいれていますか。	機械で入れている場合もあります。 某官庁より 人力(カート打設):捨コン30m ³ 程度、防水押え30m ³ 程度、(上階の場合は機械力) 小型構造物:樹類4m ³ 程度、擁壁等7m ³ 程度(上部の場合は機械力)